

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人社団 洛和会	事業所名	洛和看護小規模多機能サービス壬生
所在地	(〒604-8852) 京都市中京区壬生東大竹町4-4番地1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

多機関との連携を図り、地域内外の医療ニーズの高い利用者様の受け入れを行っている。
地域とのかかわりを持ち、ご利用者様が安心して在宅生活が送れるように援助に努め、ご家族様とご利用者様への相談援助に力を入れている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 9 月 30 日	従業者等自己評価 実施人数	(常勤9 非常勤7) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	--------------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 1 月 29 日	出席人数 (合計)	(6) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (2 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (____ 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (2 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (____ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (____ 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (____ 人) <input type="checkbox"/> その他 (____ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	内部研修の参加、外部研修もZOOM研修にて参加できるようにする。	今年度より内部研修は視聴型で定着。外部研修は立場に応じて個別に参加できた。	職員によっては（特に非常勤）内部研修の伝達のみでの参加になってしまっている。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	事前ミーティングの継続。できるだけ職員もミーティングに参加できるよう勤務に配慮する。	毎回配布。なるべく課題をしぼり、書きやすいように、当日話しやすいようにまとめる事が出来ている。	「利用者担当」としての課題を出してもらえそうな書式にしているが、現在、あまり定着せず。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	利用者担当をつけることで担当利用者の把握、モニタリング、カンファレンスを行い多職種で支援する。	利用者担当としてカンファレンスを行う事が、あまり出来ていない。	利用者担当と CM との話し合いの場、時間がほとんど計画的に確保できていない現状がある。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	ガーデニングを継続。近所の子供たちや地域の方、ご利用者に笑顔になってもらう	ぶどうは収穫直前で、台風の為に駄目になってしまったが、定期的に担当職員が手入れを行っている。	こまめに担当者が手入れを行い、利用者や地域の方々にも喜んでもらっている。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	看取り介護の継続。看取りについての研修にも参加する。	今年度は看取り対象者はおられず。研修の参加は出来ていない。	今年度は看取り対象者はおられず。研修の参加は出来ていない。	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	内部研修を中心に非常勤職員も少しずつ参加できた。地域密着協等の外部研修は、管理者以外は人員の面もあり出れていない。出来る限り伝達講習、回覧を行い周知するように努めた。	横のつながりができるよう、また、知識の向上の為、管理者・ケアマネだけでなく一般職員（週5の非常勤）も内部や外部の研修を受けるよう調整する。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27) 利用者担当の意識が薄く、また、役割が明確ではなかった為、他部署での取り組みなどを説明、少しずつ形を作っていく事が出来た。 担当制にすることで、一人一人の利用者さんの状況把握がより可能になると思います。提案、発信もより活発になっていく事を期待します。	利用者担当の定着。担当者からの提案、発信などが出来るよう、ミーティングでカンファレンスを行う。ミーティング用紙の活用は継続。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31) 他機関との連携は、どうしてもCMや看護師が対応をする機会がほとんどなので、介護職員から積極的に連携は取れないが、事業所内の他職種の職員間で相談、連携は取れている。	ご様子の変化に応じて、訪問看護職員とも相談し、病院や福祉用具等、他機関との連携を継続して図っていく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41) 近所の子供たちの写真スポットになっていた。 近所の人と話しかけてくださることが増えた。 利用者も花をみて喜ばれる方や水やりの役割もできた。 インスタグラムにも不定期であるが情報発信できた。	ガーデニングの継続。利用者、地域の方々に喜んでいただける花壇を作成する。インスタグラムを継続して活用していく。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	今年度は看取り対象者はおられず。研修の参加は出来ていない。	看取り介護の継続。看取りについての研修にも計画的に参加する。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	3	8 4	1			<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	2 2	7 5				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
							<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>玄関にて掲示している。 理念にすべて含んでおり、掲示されている。 地域との関わりが薄い。</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・医療ニーズが高い方でも、自宅と事業所サービスで生活が続けられるよう家族と連携を取っている。 ・職員全員が理解、実践は出来てない。理解している職員から伝えていく事も大切だ</p>